

埋文やまがた



2004年2月27日
第28号



山形市 向河原遺跡 弥生時代の竪穴住居跡

財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ：www.yamagatamaibun.or.jp

メールアドレス：kenkyuuka@yamagatamaibun.or.jp

2003年度 文化財普及事業の報告

発掘調査事業とともに私たちが力を注いでいる仕事に、文化財保護思想の普及があります。普及活動を通して多くの方々に接することで、文化財に対する理解を深めていただければと思います。今号では、今年度行ってきた普及活動についてまとめました。

調査説明会

発掘調査期間中に説明会を開催して、その成果を広く公開しています。現地では、当時の生活の跡や出土した遺物を目の当たりにできます。今年度開催した調査説明会をふり返って、その一部をご紹介します。



弥生時代の竪穴住居跡（表紙写真）が発見された山形市向河原遺跡の説明会

平成15年度発掘調査遺跡一覧

No.	遺跡名	所在地	時代区分
1	川前2遺跡	山形市	古墳・奈良・平安
2	助作遺跡	鶴岡市	古墳
3	百刈田遺跡	南陽市	縄文・奈良・平安
4	飛泉寺跡遺跡	小国町	中世・近世
5	堀端遺跡	長井市	奈良・平安
6	埴ノ上遺跡	長井市	奈良・平安
7	茗ヶ山遺跡	松山町	平安
8	小平4遺跡	八幡町	縄文
9	向河原遺跡	山形市	弥生・奈良・平安
10	梅野木前1遺跡	山形市	古墳・平安
11	山形城三の丸跡	山形市	近世
12	北向遺跡	山形市	奈良・平安
13	米沢城跡	米沢市	中世・近世
14	高蹴遺跡	長井市	縄文
15	西山遺跡	藤島町	縄文



長井市堀端・埴ノ上遺跡。大勢の考古学ファンが集まりました



小国町飛泉寺跡遺跡での出土遺物説明風景



山形市梅野木前1遺跡での説明会風景

山形県埋蔵文化財発掘調査報告会

11月24日に山形ビッグウイングを会場として、本年度の発掘調査報告会を行いました。例年どおり約300名の来場者がありました。報告会と並行して調査遺跡の出土遺物とパネル展示、および「木製品—古墳時代の匠—」と題した企画展も開催しました。



報告会会場のようす

平成15年11月24日(月)
午前10時～午後4時
(遺物展示は午前9時30分～午後3時)

山形国際交流プラザ
山形ビッグウイング

入場無料

古墳時代の埴谷住居跡 (山形市遺跡)

平成十五年度 山形県埋蔵文化財 発掘調査報告会

報告遺跡
高蔵遺跡 (長井市)
向河原遺跡 (山形市)
助作遺跡 (鶴岡市)
川前之遺跡 (山形市)
北向遺跡 (山形市)
堀端-畑ノ上遺跡 (長井市)
高安遺跡 (高島町)
飛泉寺跡 (小国町)

展示コーナー
遺報展
報告遺跡の遺物・パネル等
企画展
木製品—古墳時代の匠—



主催 (財)山形埋蔵文化財センター
022-872-5301
http://www.yamagatamuseum.or.jp
共催 山形県教育委員会



企画展のようす



調査遺跡の出土遺物とパネル展示

平成15年度
山形県
埋蔵文化財
発掘調査
報告会
資料

2003. 11. 24 (月)
山形国際交流プラザ
ビッグウイング
企画展:木製品—古墳時代の匠—

主催:財団法人山形埋蔵文化財センター
共催:山形県教育委員会

出前授業

今年度は27箇所で行前授業を行い、いろいろな体験を通して縄文時代の生活を学んでもらいました。

小学校、中学校、養護学校、盲学校の他に先生方の研修でも活用していただきました。子供たちの真剣な表情、輝く笑顔が印象的でした。

機会がありましたら、またお会いしましょう。



小学校

- 新庄市立昭和小学校
- 尾花沢市立尾花沢小学校
- 尾花沢市立玉野小学校
- 大石田町立亀井田小学校
- 東根市立東根小学校
- 村山市立富並小学校
- 村山市立袖崎小学校
- 河北町立谷地中部小学校
- 天童市立津山小学校
- 山形市立楯山小学校
- 山形市立桜田小学校
- 山形市立蔵王第二小学校
- 山形市立第八小学校
- 上山市立西郷第二小学校
- 上山市立中山小学校
- 上山市立南小学校
- 米沢市立万世小学校
- 米沢市立南原小学校

中学校

- 新庄市立新庄中学校
- 寒河江市立陵西中学校
- 山形市立第十中学校
- 山形市立金井中学校

- 山形県立ゆきわり養護学校
- 山形県立山形盲学校
- 白鷹町東根地区公民館
- 西村山教育研究会社会科部会
- 上山市教育研究会地域学習部会





第18回 国民文化祭 やまがた 2003

第18回国民文化祭が山形県の全市町村を会場に9日間にわたって開催されました。当センターも「くらしミュージアム」と題された催し物の中の「縄文時代にタイムスリップ」のコーナーに出展し、連日たくさんの方から参加していただきました。

2003, 10, 5 ~ 10, 13

山形市：山形国際交流プラザ
「ビッグウイング」



「いのししゲット！」



「あたらねー」



やっぱり人気の弓矢コーナー



進歩
or
進化？



個性いろいろ「勾玉づくり」



やりはじめると
しっかりはまる
「アンギン編み」



TV取材も受けました



ボランティアの皆さん
ありがとうございました



ご来場ありがとうございました
スタッフ一同



「どんな味がするのかなー」
縄文風クッキー



体験学習・遺跡見学



発掘調査現場では、地元の学校や子供会などからの申し込みにより、発掘体験や遺跡見学を受け入れています。各地でいくつか対応した中から、4件の事例を紹介します。

←南陽市沖郷小学校の6年生が総合学習の時間に百刈田遺跡を訪れ、発掘体験しました。



↑→山形市川前2遺跡を遺跡見学のため訪れた河北町溝延小学校の児童



山形市前明石子供会による発掘体験（川前2遺跡）



山形市楯山小学校6年生の社会科見学（山形市北向遺跡）

西川町・お仲間林遺跡



石器の素材となる石の塊を母岩^{ぼがん}といい、これを割って剥片^{はくぺん}石器を作ります。

石器が製作されたところに散らばっている剥片を組み合わせ、母岩の状態まで復元すると、石器を作る工程を遡って観察することができ、母岩をどのように割って石器を作ったかがよくわかります。このように組み合わせたものを接合資料^{けっごうしりょう}といいます。

写真は、西川町・お仲間林遺跡^{なかまばやし}から出土した剥片を接合したもので、この時期の石器の素材としてよく用いられた、頁岩^{けいがん}と呼ばれる石材で、長さは約33cm、重さは4.5kgもあり、遺跡の近くを流れる大入間川^{おおいりま}から運んだものと考えられます。欠落して隙間となっている部分の石材は、製品として作り上げられたのでしょう。

母岩を観察すると、効率的に石器を作り出すために、よく考えながら石を割っていった様子が窺えますが、このような石の割り方は、親から子へ、子から孫へと伝えられるうちに改良され、やがて完成された技法として確立されます。

旧石器時代の人たちは、このようにして石の道具の作り方を、何万年にもわたって伝えてきたのです。

(吉田江美子)

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお、郵送料はご負担いただきます。

電話 023(672)5301 (代表)

編集後記

これまでこの頁でお馴染みでした「遺跡散歩」に替わり、今回から新連載として「秘宝館」を掲載します。内容は、当センターが調査したもののうち、優品を紹介するものです。ホームページでもご覧いただけますので、一度アクセスして見てください。